昭和53年4月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

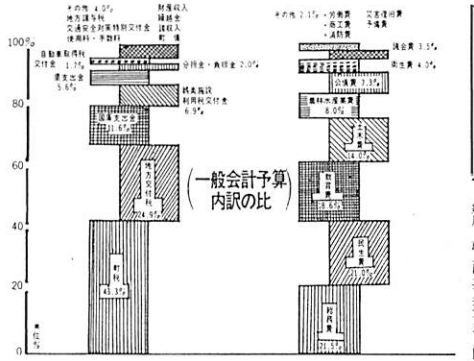
山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 4111番㊥・〒754—12
印刷 阿知須砂郷 よしの印刷

広報あじす

№.317

町の住民登録人口
（53年3月31日現在）　前月比
世帯　2,158世帯　＋3
人口　8,278人　＋5
（男3,913人　女4,365人）
（国勢調査　昭和50年10月1日）
世帯　2,113世帯
人口　8,137人
男3,771人　女4,366人

前年度より11.7％の伸び
53年度 一般会計 当初は7億2千4百万円



文化・福祉・生活に配慮
重点的配分と効果的な運用を

三月定例町議会は、一月一千七日から三月四日までの六日間で補正予算、昭和五十三年度予算など十三議案が審議され原案どおり可決されました。

四月一日から五十三年度に入ります。当初予算は例年のとおり骨格予算の性格が強く、歳入歳出とも七億二千四百九十五万九千円、前年度当初に比して、七千五百八十八万二千円の増加で伸び率十一・七％でスタートします。

ことしの予算編成にあたっては、きびしい経済、財政状況のもとで景気の回復、経済の安定成長が着実に伸びることを期待しつつ、町民の文化・福祉・生活環境整備、地域産業の振興産業基盤整備などをはかり、さらに一般行政の経費節減、投資的経費の充実をはかるなど、財源の重点的配分と効率的な運用につとめていく方針で予算編成に当ました。国や県の補助金を受けて行う事業については補助額の未定の部分もあり、今後決定したい補正予算により事業の執行にあたります。

一般会計

〔歳入〕　町税が三億一千三百九十一万六千円で前年度比にして二五・五％の伸びを見込んでいます。これは現在国会で審議中の法人均等割の税率の引上げや都市計画税、現行〇・二％が〇・三％に引き上げることによって約八百万円の増となり、この外固定資産税の新築、増改築等によるものです。地方譲与税、自動車取得税交付金、娯楽施設利用税の伸びは望めません。しかし、たばこ消費税は町民の皆さんの協力によってきます。（一日二十本入一箱吸う人は町に二十四円強の消費税を納めたことになります）

結局、歳入は地方交付税（国から地方公共団体に配分されるお金）と町税で歳入の三分の二強を占めています。

歳出

総務費関係　阿知須駅舎の落成式町民税や固定資産税の電算機委託料、現行〇・二％が〇・三％に引き上げることによって約八百万円の増となり、この外固定資産税台帳に続いて住民票をタイプで記載すること、農業委員や町議会議員選挙の経費、職員の給与などを計上しています。

民生費関係　老人の生きがい対策として各団体に助成、一人暮しの老人に愛のベルやマット寝具支給、ねたきり老人の寝具乾燥機の購入。

身体障害者、母子家庭にきめこまかい福祉対策、環境衛生推進協議会の育成、殺虫剤の無料配布など衛生面に力を注ぎ、母子とも健康であるように乳児、三才児、股脱検診、母子推進委員活動の強化がはかられます。乳幼児の健康については特に力がそそがれています。

農林水産業費関係　日本人の生活に欠くことのできない米ですから本町に六三ヘクタールの転作を受けました。

ついては農業者の皆さんのご協力をお願いいたします。

農業近代化資金の利子補給に三百四十万九千円、キャベツ価格安定に三千五万円の補助。畜産振興関係に百二千万円補助を行い、農業経営の安定、活力ある農業経営の指導を進めます。漁業振興には重えび、もがいの育成、青柱住部育成らに二百三千万円、優る漁業善相談員を採用するなど二百万円、昨年より三千万円増の補助、商工開発のために調査研究を続けさらに地元での購買力、消費力を高め経営安定、近代化をおし進めます。

農村総合モデル事業は、一億二千万円を国に要請しており認可しだい補正予算に計上し実施いたします。また県道は県谷水路、岩倉新堤の改修、単独では牧農道の改修を計画、浜表農道から井関小に通じる農道の新設は近く着工する計画です。松くい虫の空中散布を四百五十ヘクタール、駆除を八百立方メートル実施いたします。

特別会計

〔国民健康保険事業〕
二億一千万円でスタート

歳入歳出一億六千五十二万二千円で前年より十二・一％減ありました。これは保健婦関係経費が一般会計への移行などです。

保険税の税率は昨年同様。しかし税法の改正による賦課限度額が十九万円（現行十七万）と引き上げられました。

被保険者の給付関係は昨年と同様でありますが、独立採算の原則によりむだな経費はさけたいとしています。

〔簡易水道事業〕

歳入歳出とも四千七百三十四万二千円で伸び率は五一・九％です。年々需要量が増大するため日山に受水槽（二百トン）増設工事し夏期の水不安を解消できます。また砂合配水管布設工事に三百万円を計上しています。

〔交通災害共済事業〕

歳入歳出とも二百十九万四千円。会費は一人五百円、七才歳以上の老人と中学生以下の者は三百円と据置きです。五才三年から見舞金は二〇％と、不幸にして死亡された場合は七十万円と千万円増えました。

五十二年度の最終予算可決
町予算初の十億を越す

五十二年度一般会計の最終補正予算額は歳入歳出とも十億九千二百十七万八千円、交通災害共済事業特別会計は五百二十八万六千円となりました。

町予算が十億台にのぼったのは始めてで、前年の最終予算より一億八千六百八十四万五千円余円ふえ、二〇・〇％との伸び率でした。

計算例としては、固定資産税が一万円の場合

一期分（四月）　二百〇〇円
これは四月が納期なので、前納にはならない。
二期分（七月）　二百〇〇円
四月十五日までに納めると
三か月前納
三期分（十二月）　二百〇〇円
〃　八か月分前納
四期分（二月）　二百〇〇円
〃　十か月前納
一か月早く納めると一期分の税額に百分の一を乗じます。この場合、計二十一か月分になるのです

阿知須警察官派出所に用事があって不在の時は、局線「二〇四一」番の留守番電話を利用下さい

たばこは○○町内で。

お知らせ
納期前に納税すると報奨金

固定資産、町民税の納期前に納められた場合、報奨金が支払われるのを存知でしょうか。

これは「納期前納付」といって納期より早く納めたことの報奨や利息還元の意味を含むものです。

例えば、固定資産税の最初の令書を受けて年間一万円を納める場合、二期分以降が納期前納付の対象となり、計五百一千五円の報奨金が受けられます。

しかし、報奨金を二〇〇％受けられるのは四月十五日までに全額納めた人。四月十五日を過ぎて五月一日までに納めると各期一％ずつ減になります。

なお納期前に納められる時は税務課に越し下さい。

計算例としては、固定資産税が一万円の場合

一期分（四月）　二百〇〇円
増額　八十万円
▽利率　年三％
▽償還期間　六年以内
▽申込みしめ切り　四月末日まで
▽申込先　町民課へ。問い合せも同じく

老人居室整備資金

六十歳以上の高齢者と同居する者で、高齢者用の専用居室を必要とされる方に長期・低利で資金を県が融資します。

▽融資限度額
改築　七十万円
増築　八十万円
▽利率　年三％
▽償還期間　六年以内
▽申込先　町民課へ。問い合せも同じく

善意は ここに

〔社会福祉協議会へ見舞返し〕
▽十万円＝中尾菊子さん（長）は入院中の見舞御礼として香典返し
▽二万円＝浜藤節恵さん（河内）は夫国男さんの。
▽二万円＝西村久恵さん（西条）は夫才亮さんの。
▽二万円＝岡村進さん（東京都清瀬市在住・恵比須出身）は母ヨシさんの。

〔町へ〕
広報紙送料
▽五千円＝山田正雄さん（小南）
▽二千円＝下道操さん（宇部市東岐波区磯地・築地出身）
▽二千円＝松尾茂さん（小西）
▽二万円＝昭和二年井関小学校卒業同窓会（代表・福岡実）四十二名が町外在住の同窓生に広報を送付してほしいと。

〔学校へ〕
▽二千万円＝梁元吉善さん（築地）は父文得さんの寄典返しとして阿知須小へ十万円・阿知須中へ十万円、学校教育に役立ててほしいと寄付。

ぼくの学校 わたしの学校

〔阿知須小〕
8日　入学式・始業式
8日　集金日（給食）
13日　PTA学級委員選出
15日　貯金日
18～21日　家庭訪問

〔井関小〕
8日　入学式・始業式
10日　部落児童会
11・12日　身体測定
13～15日　視力検査
17日　集金日
18～21日　家庭訪問
22日　PTA常任委員会
25日　貯金日・児童会
26日　クラブ活動
28日　PTA総会
5月4日　春の小運動会

〔阿知須中〕
8日始業式・入学式・歓迎会
13日　一年実力テスト
14日　諸会費・給食
17～21日　家庭訪問
24日　参観日・育友会後援会総会
25日　貯金日・簡易保険納入日
26日　郡春季体育大会（秋穂）

4月のメモ

6～15日　春の交通安全健民運動
8日　農業委員会（前9時）
10日　民生委員協議会（後1時半）
11日　育児相談（後1時半）
12日　ツベルクリン（3か月以上～4歳未満・後1時）
14日　心配ごと・交通事故相談（前10時）
〃　ツベルクリン反応検査（12日接種者・後1時半）
15日　献血（前9時）
17日　BCG（ツベルクリン反応陰性者・後1時）
18日　健康診査（1歳6か月児・後1時）
三種配合（後2時半）
〔会場の記入のないのは役場〕

今月の納税

○　固定資産税
納期前納付15日まで
○　国民健康保険税
○　軽自動車税

土木費関係

砂郷地区の舗装
参宮線改良、小古郷海岸線の歩道整備と溝ふた整備（二百米）
毎年協力いただいていました井関、土路石川の清掃は、今年は県において浚渫工事が実施されますのでとりやめます。

都市計画事業は、駅通り線、縦貫線（千拓・飛石1国道）は、現在工事費七千九百万円申請中、認可なれば補正予算に計上し事業を実施いたします。

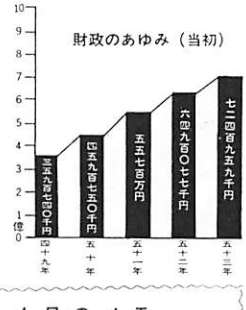
教育費関係　常に教育優先主義を貫き、社会教育の充実、振興に一層努めます。現在の社会において教育に要請されることは、人間性豊かで、しかも心身ともバランスのとれたたくましい人間に育つことを重要課題として。

予算面は、前年度より一千八百九十七万六千円の増となっています。この中で学校教育、同和教育の推進をはかり、さらに社会教育面では、地域公民館の活動振興のために補助金を出すことにしています。

郷土に伝わる有形無形の文化財や遺産の保護、発掘、伝承に努めます。貝殻山の調査も引続きおこないます。

県道善坊線も改良工事の実施、井関川左岸に歩行者、自転車道の新設工事、河内農免道路の舗装や野口を起点として実施される予定です。

町以外の事業として予定されているものは国道一九〇号線岩倉バイパス起点から役場前までの通学道路と舗装、岩倉～土路石間の改良工事は進んでいますが昭和五十四年完成見込みです。また高潮対策は引続き実施、井関川、土路石川の改修が七千万円で実施の予定です。



赤浜が初優勝

町駅伝

快晴に十五チーム参加で健脚競う

第二十八回町内駅伝競走大会はみせています。町内駅伝での赤浜三月二十六日、快晴にめぐまれ、阿知須小学校運動場をスタート、町内を回って中学校グランドまで七区間一五・三五キロのコースにこれまで最高の十五チーム、一〇五人の選手が沿道の声援をうけ健脚を競いました。

一区から激しいトップ争いを展開、ゴールの中学校まで優勝のゆくえのわからないほどの激戦でしたが、平均的な選手をそろえた赤浜チームがよく力走し、初優勝の快挙を成しとげました。

優勝した赤浜地区には、昨年二月走ろう会が誕生して毎週集まって体力つくりをかねて練習を重ね選手層も厚く、この大会に河内源河チームとともに一地区から二チーム参加できるほどの盛り上りを見せました。

（区間賞）

一区＝塚本宏治（玉川）　二区＝辻田巧（飛沖）　三区＝辻田秀樹（岩倉）　四区＝浜崎要二（砂郷）・御堂昭一（前山）　五区＝田中修（前山）　六区＝長久良人（小古郷）　七区＝堤建一郎（東条）

（入賞チーム）

一位赤浜54分16秒　二位砂郷54分41秒　三位旦岡59分19秒

入賞・個人区間賞はつぎのとおり。

第28回町内駅伝大会記録

上段チーム順位　下段区間順位

	一学年区	二学年区	三学年区	四十代区	五高校生区	六三十代区	七青年区	所要時間
赤浜A	⑬ 13 大林	④ 3 松崎	③ 7 古川	④ 10 渡辺	④ 5 福岡	③ 2 下野	① 5 田尾	54分16秒
砂郷	⑥ 6 西村	① 2 安藤	③ 8 田村	① 1 浜崎	③ 11 平岩	④ 4 松浦	② 6 吉野	54分41秒
旦岡	④ 4 伊藤	③ 4 坂井	⑭ 15 大下	⑭ 5 森崎	⑩ 8 竹重	⑦ 3 藤井	③ 6 松浦	55分19秒
前山	② 2 中川	⑤ 9 河内	⑤ 6 谷	③ 1 御堂	① 1 田中	① 13 山下	④ 10 宮崎	55分32秒
源河A	⑦ 6 浜本	⑩ 11 山野	⑧ 4 浜藤	⑨ 14 国重	② 2 山本	④ 4 片山	⑤ 7 藤田	55分42秒
東条	⑪ 11 佐藤	⑫ 13 林	⑩ 2 兼重	⑫ 11 吉武	⑫ 2 広重	⑧ 6 大浜	③ 6 堤	55分49秒
飛沖	⑭ 14 西村	② 1 辻田	⑪ 4 岡田	⑭ 14 西村	⑥ 11 安村	⑦ 7 吉村	⑬ 15 引藤	56分47秒
源河B	⑮ 15 伊藤	⑬ 8 松永	⑩ 8 沢田	⑩ 8 沢田	⑥ 4 長尾	⑬ 15 引藤	⑦ 4 未永	57分42秒
赤浜B	⑩ 10 古川	⑪ 10 古川	⑫ 12 中野	⑬ 8 福岡	⑨ 6 渡辺	⑨ 5 大下	⑩ 13 咲花	58分09秒
小古郷	⑤ 5 村田	⑤ 11 橋本	⑧ 13 古浜	⑬ 14 平海	⑫ 9 上野	① 1 長久	⑨ 8 藤永	58分15秒
岩倉	③ 3 川口	⑦ 7 田中	① 1 辻田	② 15 上重	⑪ 13 岩崎	⑪ 11 田辺	⑫ 12 石田	58分44秒
寺浜	⑧ 8 河野	⑮ 15 鈴木	⑮ 10 明徳	⑮ 6 小野	⑮ 12 松本	⑮ 12 若崎	⑫ 2 平川	58分47秒
中西	⑨ 9 杉谷	⑭ 14 磯金	⑬ 3 三宅	⑪ 7 西中	⑤ 3 上野	⑥ 8 大浜	⑬ 15 川崎	59分46秒
引野	⑫ 12 福永	⑧ 5 村長	⑤ 8 村長	⑤ 4 古谷	⑧ 10 大田	⑩ 14 石本	⑭ 14 藤田	60分04秒
玉川	① 1 塚本	⑨ 12 福島	⑨ 13 山根	⑦ 3 水本	⑭ 15 塚本	⑭ 10 山本	⑮ 9 磯部	60分10秒

教職員異動

（小学校）上段が新任校

（校長）
阿知須　田辺　剛一
阿知須　田中　功

（教諭）
阿知須　阿知須　淳美
阿知須　阿知須　美祢教委
阿知須　阿知須　秋穂
阿知須　阿知須　大海
〃　〃　井上　武
〃　〃　長富　慶子
〃　〃　関谷　典子
〃　〃　藤本　昭子
井関　阿知須　徳山
（養護）
小野田　阿知須　児島五百子
阿知須　阿知須　伊藤　敏子
（中学校）
（教諭）
常盤　関谷　義親
保健衛生課保健衛生係（厚生課福祉衛生係）
村重万喜男
保健衛生課保健衛生係（住民課国保年金係）
上重　正男
保健衛生課保健衛生係（住民課国保年金係）
上重　正男
保健衛生課保健衛生係（住民課国保年金係）
梁元　文得
石川雅昭　長安　佳世
石田博二　二安　敦子
朝尾清美　長男　拓郎
藤田直博　二男　浩司
細重直春　長女　史子
西山幸雄　長男　洋史
秋本英美　長女　祐江
大黒高雄　長男　慎治
佐波　梢山　治夫
小郡　林　浩司
阿知須　河村　和
阿知須　新道　正保
阿知須　原田　亮雅
〃　〃　仁保　秋穂
〃　〃　保
〃　〃　恵
〃　〃　阿知須
〃　〃　阿知須
〃　〃　阿知須